

ジャズクルージング

ベイスайдジャズ千葉の連携イベントとして「ジャズクルージングライブ」を開催。海を眺めながらジャズライブを楽しみください。



モナコスタイルクルーザー
オセアンブルー号

The Jazz Crew

大原保人(p) 池尻洋史(b) 田辺充邦(g) 利光玲奈(vo)



Photographer Miho Chihaya

一般販売
4月2日(火)
窓口・電話9:00~
※発売開始日のみ電話は10:00~
インターネットでの発売は
翌日以降。
事前登録が必要。

2024.6.1 [土]

デイトム 13:15乗船 14:00出発 15:10下船予定
サンセット 16:30乗船 17:30出発 19:00下船予定
(演奏時間は各60分)

司会: 藤井由紀

乗船口: **ケーズハーバー** (千葉みなと旅客船ターミナル)
千葉市中央区中央港1-20-1 (JR京葉線 千葉みなと駅徒歩約7分)

デイトム入場料 一般5,000円(財団会員4,500円) 高校生以下1,500円
(乗船券+演奏入場料・消費税込み)

サンセット入場料 一般7,000円(財団会員6,300円)
(乗船券+演奏入場料・消費税込み)

定員 / 各回先着60人

※就学前児入場不可※飲食物の持ち込みはできません。なお、船内にてドリンク(アルコール飲料含む)を購入できます。

- ① 千葉市文化センター TEL043-224-8211
 - ② 千葉市民会館 TEL043-224-2431
 - ③ 千葉市男女共同参画センター TEL043-209-8771
 - ④ 千葉市美浜文化ホール TEL043-270-5619
 - ⑤ 千葉市若葉文化ホール TEL043-237-1911
- インターネット予約
千葉市文化振興財団

主催 **公益財団法人千葉市文化振興財団**

お問い合わせ TEL043-221-2411(平日9:00~17:00)
https://www.f-cp.jp



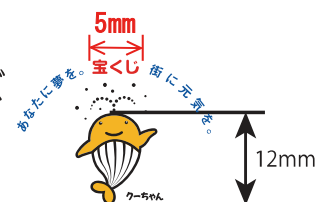
共催 **千葉市** 後援 **千葉市教育委員会** 協力 **千葉ジャズ協会**

※当日の天候及び波の状況によりコースの変更または欠航になる場合があります。



この事業には宝くじの収益金が活用されています。宝くじの収益金は、お買い求めいただいた売り場のある自治体に、売上額に応じて配分され、公共事業に役立てられています。是非、地元でのご購入をお願いいたします。

最小使用サイズ



Profile

The Jazz Crew

大原保人 (おおはらやすと ピアノ)

福岡県出身。3歳よりピアノを始める。「シャープス&フラッツ」をはじめとし、内外の多くのバンドでの経験豊富なキャリアと人脈を活かし、自身の「エイティワンジャズクラブ」を拠点に第一線で活動中。ニューヨーク、クライストチャーチ、中国大連他、近年恒例となったヨーロッパ各地での夏の演奏会は好評を博し、毎回多くのファンが待ち望んでいる。国際文化交流、後進の育成、特別支援学校の慰問、「ベイサイドジャズ」音楽監督として地域の活性化への貢献等の功績が認められ「千葉県文化功労章」「千葉市市政功労章」を受賞。2021年10月:アートサークルレジデンス ヨーロッパコネクト キックオフイベント出演。コロナ禍の中での渡独、コンサートは、聴衆の心に深い感銘をあたえた。

1997.2004.に続き、2023.3回目のモントルージャズフェスティバルに「Yasuto Ohara Super Jazz Trio」で出演、ジャズにかける情熱はさらに進化を続ける。

池尻洋史 (いけじりひろし ベース)

1979年生まれ。千葉県出身。中学、高校と吹奏楽部に所属し、様々な楽器にふれる機会を得た。千葉大学に入学し、モダンジャズ研究会に所属。アコースティックな低音の世界に惹かれ、Jazzコントラバス奏者を志し、山下弘治氏に師事。在学中より、積極的なセッション活動とストリート演奏を通して、演奏技法に磨きをかけ、徐々にライブスポットでの演奏に活動を展開した。2010年には、日本で活躍する若手代表ともいえるメンバーとBungalowを結成。ジャズ、即興、民族音楽などを取り入れ、景色が聞こえるサウンドは大きな話題を呼び、これまでに4枚のアルバムをリリースしている。Bungalow結成を期に、作曲活動も開始し、今では原朋直グループへ自作作曲の提供も行っている。自己の演奏における信条は質実剛健を旨とする。アンサンブルにおいて、音域を広く使うことで刺激の中心となりつつもサウンドの基礎をしっかりと支えるスタイルは各方面からの評価も高い。

田辺充邦 (たなべみつくに ギター)

10歳からギターを始め、高校時代からジャズに傾倒しジャズギターを宮之上貴昭氏に師事。1985年からプロとしての活動を開始し、1988年に渡米。ニューヨークを中心に多数のミュージシャンとセッションを重ねる。1999年、岸ミツアキ・トリオで、カリフォルニア州・コンコードジャズフェスティバルに出演。カウントペイシーオーケストラ、ローズマリークルーニー、マンハッタントランスファーなどと同じステージに立つ。阿川泰子/八代亜紀、森口博子、岸ミツアキ/LOVE NOTES等、ライブやCD・DVDなどのレコーディングセッションにも数多く参加。LOVE NOTESではTV番組のアレンジやCMソングの提供、CMにも出演。PPMのPaul StookeyとLAでレコーディング。テナーサックスのスコットハミルトン、ハリーアレンやピアニストのノーマンシモンズのツアーに参加。スコットハミルトン、ピアニストのジョンバンチとのレコーディングにも参加。八代亜紀のジャズアルバム、夜のアルバム、夜のつづきの二枚でギターを担当。香港のアーティストVincy ChanやKwangorのレコーディングに参加。

最近ではアレンジとギターで参加した楽曲「東京は夜の7時」が東京オリンピック2020閉会式のフラッグオーバーセレモニーで使用され好評を得る。

また教則本の出版や音楽雑誌の試奏レポート、ラジオ番組のパーソナリティーと他分野で活躍。ビンテージギターのコレクターとしても有名。

最近ではSignature Model Yamaoka guitar MT17を使用。2004年リーダーアルバム、Bernie's Tune をスキップレコードより発売。チェロとギターのユニット田辺商店でBossa Cradle, Get on a swingを発売。ウェス・モンゴメリー、バーニー・ケッセル、フレディ・グリーン、などを敬愛し、ソロギターからビッグバンドのアンサンブルに至るまで、幅広いスタイル をこなすプレイヤーとして定評がある。

利光玲奈 (としみつれな ヴォーカル)

洗足学園音楽大学ジャズコースを首席で卒業。

在学時代は、大坂昌彦氏に師事。現在は、ジャズドラマーとしてだけでなくボーカリストとしても活動をはじめ。自身のリーダーライブも定期的で開催しており、都内ジャズクラブを中心に精力的に活動中。

※飲食物の持ち込みはできません。